

**いなみ野台地と淡河川山田川疎水**

○淡河川山田川疎水(おうごがわやまだがわそすい)

疎水とは、給水・灌漑・水運などのため、新しく土地を開いて造った水路のことです。有名な疎水に、明治23年(1890)に琵琶湖の水を京都市に送った琵琶湖疎水、明治15年(1882)に福島県猪苗代湖の水を郡山盆地の灌漑のために送った安積(あさか)疎水などがあります。「淡河川山田川疎水」(「淡山疎水」たんざんそすい)は、明治21年(1888)に淡河川疎水事業に着工、明治24年(1891)に完成、明治44年(1911)に山田川疎水事業に着工、大正8年(1919)に完成した「いなみ野台地」を潤すための疎水事業です。平成18年に「疎水百選」に認定されました。

○いなみ野台地を潤す淡河川山田川疎水計画

「いなみ野台地」は、東西を明石川と加古川、南北を播磨灘と美囊川(加古川の支流)で囲まれた洪積台地で東縁と北縁は30~60mの急崖であり、三角状の孤立した地形です。江戸時代初期、非灌漑期に小河川上流部で取った水を溜池に貯める用水確保方式により、新田開発も行われるようになりましたが、慢性的な水不足は解消できず、畑で綿花を栽培し綿糸を紡いで綿布を製造して収入を補っていました。しかし、開国に伴う外国綿の輸入の増加とともに低価の綿糸が販売されるようになり、新水源の確保(流量の多い淡河川や山田川から非灌漑期に取水し多くの溜池に貯水)により畑地の水田化を行い、米作を盛んにすることを目的に明治時代に疎水事業が計画されました。

○疎水を実現させた近代技術と人々

淡河川疎水工事は、さまざまな土木技術を駆使しました。特に、最大難所であった志染川溪谷を横断する水利施設(御坂サイフォン)の建設については、横浜で日本最初の水道工事を完成させた英国陸軍工兵少将ヘンリー・スペンサー・パーマーに設計を依頼。谷両側の山地の標高差2.45mを利用したサイフォンによる延長752mの管路は、イギリス製の錬鉄管をつないだものが使用されました。勾配を保つために山裾を削り、最低部の志染川を跨ぐためにサイフォン橋を設置しました。サイフォン橋は、全長56.95m。設計、工事は県技師粕谷素直。明治24年竣工。

北條直正は、明治12年、加古郡初代郡長に就任、明治27年には母里村の村長に就任し3期12年間、村政の改善と疎水事業実現の諸課題(租税額の減免や納租運動、播州葡萄園誘致など)に取り組みました。山田川疎水の首唱者であった魚住完治は、山田川疎水のため、私費で測量を行い、明治11年に疎水の掘削を県に申請。県・国の援助により、詳細調査を行い淡河川取水に変更。明治21年に工事開始。魚住完治は指導監督として貢献。完治の甥魚住逸治は第1回帝国議会議員。国費補助に尽力しました。

○国営東播用水事業(昭和45年度~平成4年度)と現在

播磨臨海工業地帯の急速な工業化・都市化傾向は、営農労力不足、農地流動化等で農業地帯に大きな影響を及ぼし、昭和45年10月、農業用水だけではなく都市用水の開発も含めた東播用水事業が発足、平成5年に竣工しました。これにより淡山疎水は東播用水事業という現在の巨大な水利システム(加古川水系を東条川、篠山川へとさかのぼり、約36kmの導水路によって吞吐・大川瀬・川代の3ダムを連結するネットワーク)に組み込まれました。そのため、山田川疎水の諸施設が灌漑施設としての役割を終えるとともに、溜池や水路が廃止されたり縮小されたりしましたが、平成15年(2003)に文化庁の「残すべき文化的景観」に選定、平成18年に兵庫県教育委員会の「兵庫県の近代化遺産」としての調査、平成20年に経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されました。

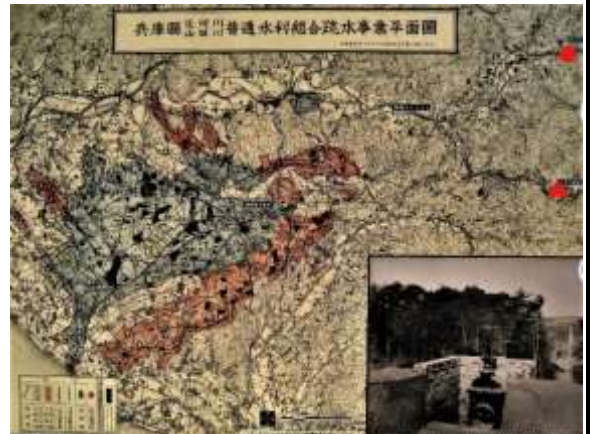
【参考文献】『淡河川山田川疎水』(平成27年度 兵庫県北播磨県民局、淡河川山田川土地改良区、東播用水土地改良区)等

淡河川疎水事業

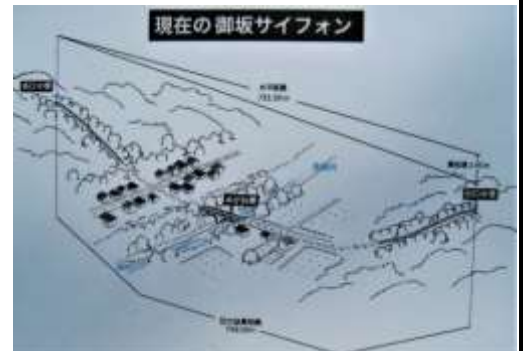
- ・明治21年1月~24年4月
- ・事業主体:兵庫県
- ・取水口:淡河村木津(神戸市北区)加古川水系美囊川上流の淡河川
- ・水路延長:26.3km
- ・隧道(トンネル):32か所、延長5.2km
- ・掘削:55か所、延長15.4km
- ・サイフォン:1か所、752m
- ・新規水田:402ha
- ・従来水田補給:1,112ha

山田川疎水事業

- ・明治44年2月~大正8年2月
- ・事業主体:淡河川山田川普通水利組合
- ・取水口:山田村坂本(神戸市北区)加古川水系美濃川上流の山田川
- ・水路延長:10.75km
- ・隧道(トンネル):19か所、延長5km
- ・掘削:55か所、延長15.4km
- ・サイフォン:2か所、215.5m
- ・新規水田:848ha



淡山疎水事業平面図 赤●淡河川頭首工 赤▲山田川頭首工



上: 淡山疎水記念碑(魚住東中学校南 宗賢神社内)  
 右上: 旧平木橋(石造水路橋)加古川市野口町水足  
 右: 練部屋分水所(神戸市西区神出町)5方向に分水

